

「アポ電」詐欺に注意しましょう

家族や実在する企業を名乗り、家族構成や資産状況などの個人情報を聞き出すアポイントメント電話、いわゆる「アポ電」が多くかかってきています。アポ電をきっかけとした、振り込み詐欺や還付金詐欺などの被害が発生しています。さらには強盗事件にアポ電が関わっているケースもあり、国民生活センターが注意を呼び掛けています。

【事例1】

市役所の職員を名乗る者から電話があり「還付金があるので、手続きのため取引銀行と口座番号を教えてください。還付金の対象者であるか判断するため、残高が50万円以上あるかを確認したい」と言われた。取引銀行を伝えたところ「銀行から案内の連絡があるので待つように」と言われ、電話が切れてしまった。

【事例2】

テレビ局の職員を名乗る者から電話があり「一人暮らしですか」と聞かれた。「家族と暮らしている」と答えたところ、電話が切れてしまった。

【事例3】

息子を名乗る電話に出たところ「気管支炎で精密検査が必要になった」などと話しながら何度も咳き込んでいた。夫に電話を変えると途端に切れてしまった。



アドバイス

- 知らない番号からの電話に出るときは、慎重に対応しましょう。着信番号通知や録音機能を活用しましょう。
- 会話から個人情報が知られてしまうので、家族構成や資産状況を聞かれたら、すぐに電話を切りましょう。家族を名乗る電話も、一度切ってからかけ直すことでトラブルを避けられます。
- 疑問を感じたりトラブルがあったりした場合は、消費生活センターに相談しましょう。

岡旭市消費生活センター(☎63-7272)・相談直通電話(☎62-8019)